

21・老福連 第8回職員研究交流集会 in 大阪



じっくり語ろう、ほんまもんの福祉

～ 持ちよろう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を ～

開催要綱

- 日時 2008年11月29日(土)～12月1日(月) 1日参加からOK
- 会場 全体会・分科会 ホテルコスモスクエア国際交流センター
交流会 ホテル大阪ベイタワー
- 参加費 3日間参加 10,000円 2日間9,000円 1日間8,500円

主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称＝21・老福連)
後援：大阪府 大阪市 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 大阪府社会福祉協議会老人施設部会 社団法人大阪社会福祉士会 大阪市社会福祉協議会 和歌山県老人福祉施設協議会
(以下、すべて依頼中) 社団法人大阪介護福祉士会 社団法人大阪介護支援専門員協会 京都府老人福祉施設協議会 京都市老人福祉施設協議会 兵庫県老人福祉事業協会 神戸市老人福祉施設連盟 奈良県老人福祉施設協議会 滋賀県老人福祉施設協議会

● 主催 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称＝21・老福連)

TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

利用者の願いに応える 豊かな援助実践を築き上げるために



「21・老福連」参加施設のみなさん
全国の老人福祉施設関係者のみなさん



私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、老人福祉の新しい施設連絡会組織として、2002年6月に発足いたしました。

発足にあたって、①介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う ②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する ③老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

来年は介護保険制度改定の年です。この間、改定のたびに利用者・家族の負担は増え、施設にとっては報酬カットで経営は苦しくなる一方です。こうした中、福祉で働く職員の就労環境は悪化し、「将来に希望を持ってない」と、離職者が相次ぎ、人材確保の困難な状況は全国的に深刻化しています。

21・老福連は、来年度の介護報酬改定にむけて、福祉に働く職員が、誇りと希望をもって働けるため、人員配置と賃金水準の改善を求め、6万4千余の署名を厚生労働大臣に提出するなどの諸活動に取り組んできました。

また、日々の援助実践を確かめ、より良いものにするために、毎年職員研究交流集会を開催してきました。昨年は富山市を会場に、延べ425名の参加と107本におよぶ実践報告がされ、多いに学びあい、交流を深めました。

今年の職員研究交流集会の開催地は大阪で、「じっくり語ろう ほんまんの福祉 ～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～」をテーマに開催します。全国各地の豊かな援助実践を大阪に持ちより、大いに学び交流を深めましょう。職員、関係者のみなさまの積極的な参加をお待ちしています。

● 日時

2008年11月29日(土) 13:00～17:00(交流会 19:00～)
11月30日(日) 9:00～17:00
12月 1日(月) 9:00～12:00

● 会場

全体会・分科会 ホテルコスモスクエア国際交流センター
交流会 ホテル大阪ベイタワー

● 参加費

3日間参加 10,000円 2日間 9,000円 1日間 8,500円
宿泊(メイン会場内・1泊朝食つき/ツイン)8,400円 交流会8,500円
● シングルの室数には限りがございます。先着順となりますので申込はお早めに願います。
詳細は名鉄観光のご案内用紙をご覧ください

● 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)
TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp
● お問い合わせ先 < 現地実行委員会事務局 >
社会福祉法人こばと会 高齢者向け優良賃貸住宅さくら苑(担当:正森)
TEL 06-4864-2266 FAX 06-4864-2212 E-mail info@kobatokai.jp

● 申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

◆◆◆参加申込〆切は9月19日(金)です◆◆◆

※集会2日目の分科会における「演題発表」の受付は老福連事務局となります。お間違いないよう、別紙「演題募集」の用紙をご確認ください。

※集会開催の約1ヶ月前には、名鉄観光より請求書とともに参加券が発送されます。

※宿泊場所は、メイン会場となる「ホテルコスモスクエア国際交流センター」をご案内しております。
シングル等、客室数に限りがございますので、お早めにお申込みください。



集会テーマ

じっくり語ろう、ほんまもんの福祉

～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～



目的

来年は介護保険制度の改定の年です。この間の改定は、利用者へのサービスが抑制され、事業者への報酬はカットされ、高齢者はもちろん、福祉に働く職員にとっても将来に不安が広がるものとなっています。

今回の職員研究交流集会では、そんな中でも思いとこだわりをもってとりにくんでいる福祉の援助実践を交流し、薄れがちな公的福祉のあり方を問いながら「ほんまもんの福祉」をじっくり語り合える集会にしたいと思います。



プログラム

1日目

11月29日(土)

< 全体会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

12:30～	受付開始
13:00～13:20	オープニング 和太鼓『鼓粹』演奏 (障害児施設:豊里学園 和太鼓チーム)
13:20～13:30	開会の挨拶・来賓からの挨拶
13:30～14:15	21・老福連からの基調報告
14:25～15:55	● 記念講演『福祉にとどかない声』 —記者の目から見た、福祉— 講師 向井 康 氏(京都新聞社 社会報道局市民担当部長)
16:10～16:55	● リレー報告 わたしたちの願い、今伝えたいこと 生活保護・障がい者・子ども・高齢者とそれぞれの分野の当事者・家族・職員が贈るあついメッセージ ●生活保護 大阪生活と健康を守る会 ●障がい者 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会 ●児 童 ※調整中 ●高 齢 者 介護福祉施設利用者家族会
16:55～17:00	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

ホテル大阪ベイタワー

19:00～21:00	毎年恒例となった交流会！今年も手づくりで現地の職員さんがみなさんを歓迎します！！ なんといっても今年が目玉は、“今夜決定！21・老福連のスターはあなただ！”との呼びかけ ではじまる<演芸コンクールIN大阪>。みなさんで大いに盛り上げてください！ もちろん、全国の参加者から持ち寄られた「地酒」にも乞うご期待！
-------------	---

2日目

11月30日(日)

< 分科会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

9:30～17:00	11分科会、20会場(予定)で繰り広げられるアツイ議論！（詳細は次々ページより）
------------	--

3日目

12月1日(月)

< 全体会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

9:00～	3日目開始
9:00～9:30	● スライドでつづる 熱い大阪集会 大阪集会の熱気をスライドと参加者スピーチでつづります
9:30～11:30	● 踊る福祉御殿 「言いたい！聞きたい！」 —好きやねん 福祉の仕事— 繰り出される「お題」、参加者とゲストコメンテーターを交えての立体的討論会 ●ゲストコメンテーター:21老福連幹事 中堅介護職員 研究者
11:30～11:45	今回の集会のまとめ
11:45～12:00	次回開催地よりあいさつ 実行委員長あいさつ 終了



一日全体会 ～ 11月29日 ～

こころウキウキ 弾むよドンドコ!

●子どもたちによる歓迎の太鼓でお迎え!

障害児施設・豊里学園の子どもたちと援助者による和太鼓の響きでお迎えます。チームは『鼓粹』(KOIKI) 全国障害者大会に連続出場を果たすなど、その実力は定評です。



●特別講演 『福祉にとどかない声』 —記者の目から見た福祉—



講師 向井 康氏

(京都新聞社社会報道局市民担当部長)

講師プロフィール：京都市生まれ。1980年京都新聞社入社。社会部、企画報道部、滋賀本社などを経て、現職。阪神大震災における京都、神戸両新聞社の合同連載「生きる」で新聞協会(グループ受賞) 2006年 医療と福祉の冷たい谷間を取材した「折れない葦」取材班で新聞協会賞を受賞。

●リレー報告 『わたしたちのねがい、今つたえたいこと』

生活保護・障害者・子ども・高齢者とそれぞれの分野の当事者、家族がおくる職員へのあついメッセージ!!

- ◆大阪生活と健康を守る会
- ◆障害者(児)を守る全大阪連絡協議会
- ◆児童分野 ※調整中
- ◆介護福祉施設利用者家族会 それぞれの分野からご報告いただきます



三日全体会 ～ 12月1日 ～

●スライドでつづる熱い大阪集会

大阪集会の熱気をスライドと参加者スピーチでつづります

●踊る福祉御殿! 「言いたい! 聞きたい」 —好きやねん 福祉の仕事—

あの一言で……、納得できるケアって、働きつづけることの不安、仕事の魅力、etc……くりだされる「お題」に、参加者とゲストの意見も入れながら討論をすすめます。

- ゲストコメンテーター 21老福連幹事 中堅介護職員 研究者

21・老福連 第8回職員研究交流集会 in (大阪) 分科会一覽案 <11分科会20会場>

分科会名	趣旨・課題	分散会名	座長	助言者
1 施設でその人らしい暮らしを支える	<p>今後施設の在り方そのものを変えられ、ますます重度の方が増加していくことが予測されます。くらしの場として入居者自身がお互いの関わりや暮らしをどうつづけているかの実践等をもちより重度化していく中での特養のくらしのありかたを検討しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度化、医療処置の増加、厳しい人員体制の中で工夫しながらその人らしい暮らしをささえる実践 ・重度の方のその人らしさを大切にしたい実践報告 ・体制的に創意工夫しなすめられているユニット、グループケアの実践 ・ユニット・グループケアで入居者や職員はどう変わったか ・特養における認知症高齢者に対する支援 ・身体拘束廃止のとらえ 	<p>1-I : ユニット型を中心に</p> <p>1-II : 従来型を中心に</p>	<p>※調整中</p> <p>大阪 弥栄の郷 施設長 村瀬 愛</p> <p>北海道 フルーツ・シャトーよいち 副施設長 本荘 頼賢</p> <p>群馬 誠の園 園長 山口 千春</p>	<p>神奈川 緑陽苑 施設長 岸田 孝史</p> <p>東京 マイホーム新川 施設長 繁田 正人</p> <p>愛知 蒲郡眺海園 施設長 早川 昌宏</p> <p>白梅学園短期大学 教員 森山 千賀子</p>
2 施設の暮らしの中で食を支える	<p>重度化に伴う食形態やユニットケア体制における現場調理等、また栄養ケアマネージメントや栄養食加算の算定がはじまり施設における食の形態やあり方も複雑さをましています。利用者の立場にたった食事のあり方の実践をもちよりながら次の課題についても論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケアマネージメントの開始によって利用者への健康管理に果している役割や成果、ケアプランにおける他職種との連携 ・介護報酬の改定が食の提供に及ぼしている影響や経営的側面(直営・委託とも)からの影響 ・ひとりひとりに合わせた食の提供の工夫 	<p>2-I : 栄養サプリメントを中心に</p> <p>2-II : 他職種との連携、チーム労働</p>	<p>山形 とかみ共生苑 主任栄養士 岩原 道代</p> <p>新潟 つつみ荘 管理栄養士 山崎 正則</p>	<p>京都 社会福祉法人七野会 栄養部部長 森島 静子</p> <p>鳥根 ひまわり園 施設長 常陸 実</p>
3 施設の暮らしの中で医療・健康管理を考える	<p>特養においても感染症の対応がより求められる状況になっています。又現在も重度化が進行していますが、今後特養の役割も重度者の受け入れにシフトしていく方向が考えられています。このような中で改めて次の課題について論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養における健康管理のあり方、生活を支える看護の役割やあり方と介護職との連携や課題 ・重度化、少ない看護配置の中で特養の医療のあり方と医療機関との連携 ・感染症に対するとらえ ・ターミナルケアを中心とした取り組み 等を検討しましょう。 	3	<p>富山 しらいわ苑 施設長 小西 乃里子</p>	<p>東大阪生協病院 副院長 橋田 亜由美</p>
4 ケアハウスのあり方を考える	<p>国は地域で住み続ける上で多様な住まいの構築をうたっており、ケア付き住宅、有料老人ホーム、有料賃貸住宅等様々な形態の住宅が民間の手でどんどんつくられてきています。このような動向の中で老人福祉法上に位置づけられるケアハウスの存在意義は何か、安心の住み家として今後のケアハウスをどう考えて行けばよいか、終いの施設になりえるのか、実践をもちよみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定施設問題 ・重度化への対応、ケアハウスの機能 ・医療・福祉・地域との連携の実践 ・ケアハウスの相談機能、利用者の状況からみえるケアハウスの役割 	4	<p>新潟 ケアハウス穂波の里 法人事務局長 上杉 あさ子</p>	<p>宮城 宮城野の里 施設長 小野 ともみ</p>

分科会名	趣旨・課題	分散会名	座長	助言者
<p>5</p> <p>在宅生活を支える デイ・シヨート事業</p>	<p>住みなれた地域で住み続けることの要求が強まっています。また介護予防が制度化され介護予防に対する関心も高まっています。一方国は政策的にも施設から在宅へと転換してきており、療養型の削減で今後重度の在宅者が増加することが懸念されます。制度改定から2年が経過し新しい制度に対処するとり組みと共に在宅生活を支えるデイやシヨートのあり方を議論しましょう。 (共通して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネと事業者との関わり、及び事業者間の連携 ・デイやシヨートを利用することで利用者や家族はどのように支えられているか、また変化したか ・特色あるデイやシヨートのとり組み ・デイ、シヨートを一体的に取組んでいる所の実践事例 (シヨート) ・多様な利用目的に対応して本人、家族のニーズにどう応えているか ・シヨートにおける個別的援助とは ・事故防止の取り組み ・業務の工夫改善等 ・(デイ) ・介護予防のとり組みやその効果 ・個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネージメントのとり組み ・家族との連携、家族に対する相談、援助 ・デイにおける各職種の役割の取り方と連携 	<p>5-Ⅰ：シヨートのとり組みを中心に</p> <p>5-Ⅱ：デイのとり組みを中心に</p>	<p>兵庫 甲斐園 副施設長 川内 光子</p> <p>愛知 すこやかのみ</p> <p>施設長 高部 ゆかり</p> <p>大阪 結いの里 副施設長 阿倍 裕一郎</p>	<p>新潟 ショートステイあしぬま 事務長 西島 朝子</p>
<p>6</p> <p>養護老人ホームの 制度転換への 対応と役割を 考える</p>	<p>新制度移行後2年が経過しその具体的な影響や諸課題について大いに議論しましょう。全参加施設の発表を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新制度移行後の影響、課題、実践 ・自治体への問題提起等の実践 ・高齢者福祉を守り、拡充する視点から養護老人ホームのあり方や実践事例 	<p>6</p> <p>長野 ハートヒル川路 事務長 西田 克美</p>	<p>東京 信愛寮 前施設長 関 道子</p>	<p>東京 信愛寮 前施設長 関 道子</p>
<p>7</p> <p>地域で暮らし続ける</p>	<p>(ホームヘルプサービス) ホームヘルプサービスも制度改定の大きな影響をうけました。2年が経過して改めて利用者、家族に対する影響を直視し、それをどうのりにえてきたか、また地域のヘルパーがどう連携しながら実践の交流や社会的地位の向上、地域づくりにも関わっているか、経験をもちより討論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度改定の影響ととり組み ・質の向上のとり組み ・サービス提供責任者の役割 ・ネットワークや地域づくりのとり組み <p>(グループホーム) 2006年度よりグループホームと小規模多機能型施設は地域密着型サービスと位置づけられました。グループホームは全国的に数が急増する中でその質もとわれてきています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームでどこまでケアするのか ・グループホームと地域とのかかわり ・グループホームならではの援助実践 等を話しあいましょ <p>(地域包括支援センター・在宅介護支援事業所) 制度改定から2年が経過した中で地域づくりやネットワーク作り困難事例への対応や公的責任の問題等経験をもちよりましょ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践の経験交流・連携の課題・地域の課題等 ・介護予防、ネットワークづくり、権利擁護、困難事例の対応、行政との関係等 ・介護保険改定の影響やそれに対するとり組み <p>(小規模多機能) 小規模多機能型サービスは地域で暮らし続けるためのサービスとして制度化されとり組みが始まっています。 制度としては始まったばかりであり施設をつくった経過やとり組み、課題等を報告、検討しあいましょ。</p> 	<p>7-Ⅰ：ホームヘルプサービス</p> <p>7-Ⅱ：グループホームケア</p> <p>7-Ⅲ：地域包括支援・在宅介護支援事業 支援センター・居宅介護支援事業</p> <p>7-Ⅳ：小規模多機能型サービス</p>	<p>静岡 芳川の里 施設長 宮形 淳</p> <p>山形 とかみ薬生苑 苑長 横山 雄治</p> <p>東京 泉苑ケアセンター センター長 武田 恵</p> <p>京都 生活支援センター上総 センター長 小泉 徳芳</p>	<p>金沢大学 教員 森山 治</p> <p>愛媛 アンジュールともの家 ホーム長 永和 淑子</p> <p>福祉・介護オープンズネットおおさ か 事務局長 日下部 雅喜</p> <p>兵庫 きらくえん倶楽部大榎町 管理者 菊池 貴美香</p>

分科会名	趣旨・課題	分科会名	座 長	助言者
8 安全・安心と 生活リスクの共有 —事故防止のとりくみ — を中心—to	生活施設の中でリスクとの共有は避けられませんが、利用者・家族との信頼関係の構築、安心・安全をベースにした生活を築いていく上で事故防止のとりくみはかかせません。介護事故を中心に、論議を深めましょう。 ・発生した事故事例から学ぶこと ・ヒヤリ・ハットのとりくみ ・転倒防止の工夫 ・施設の事故防止のとりくみや体制	8	広島 くすの木苑 生活相談員 中根 正博	東京 みやま大樹の苑 施設長 相羽 孝昭
9 施設で事務職員が 果たす役割を考える	事業の多様化、制度改定、経営のきびしさ等の中で、施設運営の実務の要としてその役割は重要さをましています。又地域との関係で組織能力も問われてきています。管理部門を対象に情報交換しながら事務の役割を論議しましょう。 ・事務部門の果たす役割 ・事務業務に係わる具体的なテーマの実践事例 ・事務業務の効率化 ・事務部門から見た介護保険制度の問題 ・施設の民主的運営の課題	9	大阪 城東老人ホーム 施設長 宮崎 佳子	兵庫 社会福祉法人きらくえん 法人事務局長 細岡 雄二
10 育ちあい・育てあう 職場づくり	(若い職員の立場から) 福祉の現場での働きがいと生きがいについて大いに語り合います。 ・若者の率直な声のレポート ・どのような福祉に働く職員になりたいか ・研修や職場運営にのぞむもの ・学びやあい育ちあえる職場運営の経験 等 (中間管理職職員の立場から) きびしい情勢に立ち向かい、働きがいある職場づくりの基礎は民主的運営です。中間管理職の立場の方の悩みも率直に出し合いながら議論できるような積極的な参加を期待します。 ・リーディングのとり方 ・職場会議の持ち方や職場運営 ・職場の中の中間管理職が果たす役割 ・各施設の研修制度、人材育成の取組みの実践 等 ・職場におけるメンタルヘルスの課題(長く働き続けられる職場)	10-I:若い職員を中心に 10-II:中間管理職を中心に	大阪 いのこの里 施設長 山本 智光 北海道 かりぶ・あつべつ 施設長 石井 秀夫	金城学院大学 教員 朝倉 美江 白梅学園大学 教員 佐野 英司
11 施設と地域、 利用者、家族、 後援会組織等との 関係を考える	施設職員以外にも開かれたオープンな分科会とし、地域にさええられた施設運営、職員との関わりを引き続き論議しましょう。そして福祉施設が地域福祉の拠点として地域づくりをもっと進めていくための論議を深めましょう。後援会の立場の方、家族会の方の参加歓迎します。 ・地域に根ざした施設運営 ・後援会活動の交流、後援会活動と職員の関わり ・家族会活動の交流、家族会活動と職員の関わり ・ボランティア活動について ・苦情や意見からみた利用者、家族、地域の声と施設運営への反映 ・利用者アンケートのとりくみ ・地域の要望に応えた法人の自主的業務のとりくみ等・福祉のまちづくりの活動	11	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修	大妻女子大学 教員 井上 修一

※座長・助言者は、変更になる場合がありますのでご了承ください。
※会場の定員に達し次第、「第2希望」の分科会にご参加いただくこととなりますのでお申し込みはお早めをお願いします。(申込用紙参照)



～ 演題募集のエントリー ～

- 「演題募集のエントリー」×切は9月10日（水）です
下記用紙に必要事項をご記入いただき、老福連事務局までFAXで
送信願います（番号 075-494-1135）！
- 「発表原稿」の提出×切は9月30日（火）です
さくら苑（担当：正森 まさもり）【E-mail info@kobatokai.jp】まで！！

施設名		施設住所	〒
施設種別		TEL	
		FAX	
発表者名		職種	
第(—) 希望分科会 (分散会番号も忘れず)	演題		
発表内容 (簡潔に)			
発表の際にパワーポイントの使用を予定していますか	している ・ していない (いずれかに○を)		
ノートPC持参 (パワーポイントソフトが入ってなくても可) ※ 現地で用意できない時はお願いすることもあります	できる ・ できない		
◇上記「PC持参」の設問で「できる」とお答えいただいた方 Windowsのバージョン パワーポイントのバージョン	※ 該当箇所にチェック願います □98 □Me □XP □VISTA □2000 □2002 □2003 □2007		

◇問い合わせ・送付先：21老福連 事務局 TEL 075-494-1115
FAX 075-494-1135

～ アクセス ～ 会場のご案内



～ メイン会場（全体会・分科会・宿泊）～

ホテルコスモスクエア国際交流センター

◇大阪市住之江区南港北1-7-50 TEL 06-6614-8711

◇大阪市営地下鉄中央線コスモスクエア駅2番出口よりサークルバス3分／インテックス大阪東ゲートより徒歩1分



各主要駅からのアクセス

所要時間に乗り継ぎ
時間は含まれません

所要時間	地下鉄御堂筋線	地下鉄中央線	サークルバス
計29分	新大阪 11分	本町 15分	3分
計11分	乗り換え	地下鉄中央線	サークルバス
	JR環状線各駅	弁天町 8分	3分
計22分	地下鉄御堂筋線	地下鉄中央線	サークルバス
	なんば 4分	本町 15分	3分
計59分	大阪モノレール	乗り換え	地下鉄中央線
	大阪空港(伊丹) 12分	千里中央 4分	千里中央 25分
	本町 15分	地下鉄中央線	サークルバス
計44分	大阪モノレール	阪急宝塚本線急行	乗り換え
	大阪空港(伊丹) 3分	蛸池 14分	梅田 5分
	梅田 4分	本町 15分	地下鉄中央線
	地下鉄御堂筋線	地下鉄中央線	サークルバス
計49分	南海特急ラピート	JR大環状線外回り	地下鉄中央線
	関西空港 38分	新今宮 8分	弁天町 8分
	地下鉄中央線	サークルバス	3分
計約50～70分	リムジンバス	徒歩	
	関西空港 約45分～65分(道路状況により異なります)	ハイアット・リージェンシー・オーサカ	5分

◆メイン会場: コスモスクエア(ホテルコスモスクエア国際交流センター)

◆交流会会場: 弁天町(ホテル大阪ベイタワー)





飛行機でお越しの場合

- ◆関西空港よりリムジンバスで約45分(1,300円)
- ◆約1時間に1本運行しています
- 関西空港リムジンバス旅客ターミナル1階・3番乗り場【天保山(海遊館)】行きに乗りし、「ハイアットリージェンシーオーサカ」にて下車/徒歩約5分



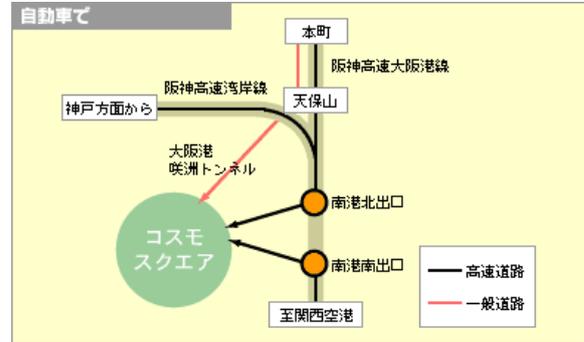
サークルバスでお越しの場合

- ◆コスモスクエア駅2番出口前より乗車し、<ホテルコスモスクエア国際交流センター>まで約3分
- ◆料金は一律100円
- 平均して1時間に約3本運行しています



お車でお越しの場合

- ◆市内中心部および関西国際空港とコスモスクエアが阪神高速で結ばれています



～ 交流会 会場 (11/29 夜) ～

ホテル大阪ベイタワー

- ◇大阪市港区弁天1-2-1 TEL 06-6577-1111
- ◇大阪市営地下鉄中央線・JR大阪環状線弁天町駅直結
- ◇メイン会場となる【ホテルコスモスクエア国際交流センター】からは、地下鉄中央線で一本(乗車時間8分)



メイン会場から
地下鉄中央線で3駅

コスモスクエア

大阪港

朝潮橋

弁天町

8分!

第8回老福連演芸コンクールIN大阪

～今夜決定！21・老福連のスターはあなただ！！～



～出演者、大・大・大募集～

交流会が盛り上げられ、21目の分科会の成功は間違いない！

平成20年11月29日、今年もまたまたやって参りました、21・老福連、第8回職員研究交流集会！福祉を熱く語るからには、まずは心の壁を取り払ってからですよね！そこで、今回の交流会では、『21・老福連恒例演芸コンクールIN大阪』と題し、参加施設からの出演者を大募集致します。大阪だからと言って、笑いに走らなくても大丈夫です（^皿^）皆さんのとっておきの一芸で、大いに交流会を盛り上げて下さい。

※出演者は7組を予定しています。応募者多数の場合は、実行委員会で調整させていただきます。



また、内容に関しては、一発芸ほか、踊り・歌・楽器演奏・漫談・漫才などどんなジャンルでもOKです！皆様の多彩な才能を是非、御披露頂き各分科会の壁を越えた交流の場として頂けると幸いです。



※お申し込み方法など、詳細につきましては、裏面をご覧ください。



された方には・・・賞品あります！！

たこ焼きに関する何か
が起こるかも・・・



その他、盛りだくさんの催し物がございますのでお楽しみに！！



【今年もやいませ“地酒コーナー”のお知らせ&お願い！】



今年も例年、大好評の地酒コーナーを設けます。

盃を交わすことで交流も、更に広まります。

この酒は絶対にどこにも負けへんで！（負けないよ）という地元の銘酒をぜひ会場にお持ち下さい。 ☆詳細は後日、お知らせ致します。

※皆様にお願ひ：未成年、及び飲酒運転は絶対になさらぬようにお願ひ申し上げます。

【お問い合わせ先】 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会（略称「21・老福連」）



☆第8回交流会事務局☆

〒618-0022

大阪府三島郡島本町山崎5丁目3番25号 特別養護老人ホーム『弥栄の郷』

TEL 075-961-0171 FAX 075-961-0170

やえのさと あかき

赤木

〒579-8063

大阪府東大阪市横小路町1丁目1番35号 ケアハウス

TEL 072-980-7201 FAX 072-980-7203

かわちのさと しまだ

『かわち野里』 島田

第8回老福連演芸コンクールIN大阪

～今夜決定！21・老福連のスターはあなただ！！～

演芸コンクール参加申込書（FAX返信用）

FAX番号 075-961-0170 （弥栄の郷・赤木）

FAX番号にくれぐれもお間違いのございませんように、お願い申し上げます。

法人名	(ふりがな)	
施設名	(ふりがな)	
参加者氏名	(ふりがな)	参加人数
ご住所・ご連絡先		
ご住所	〒 -	
電話番号	- () -	
FAX番号	- () -	

コンクール出演内容	(例)一発芸で鼻からうどんを吸って、口から出す・・・カラオケで阪神タイガースの応援歌の六甲おろしを歌いますなど、詳細を記述して下さい。
必要物品	マイク何本、テーブル何卓・・・など、具体的に記入をお願いします。

備品の持ち込みについては、基本的にはこちらで準備させていただきます。中にはこちらで準備出来ない物もございます。FAX受信後、お聞きしたい事がございましたらこちらから連絡させていただきますので予め御了承下さいませよう、併せてお願い申し上げます。

お申し込み締め切りは、10/15日とさせていただきます！



21・老福連 第8回職員研究交流集会 in 大阪

～参加・宿泊等 ご案内～

【1】お申込方法のご案内

- ① 参加者は、申込書に必要事項を記入の上、9月19日（金）までに名鉄観光サービス(株)なんば支店へFAXまたは、郵送にてお申込下さい。

お申込締切日 2008年9月19日（金）

- ② お申込受付後、11月上旬頃より名鉄観光サービス(株)なんば支店より、参加確認書（参加券・宿泊利用券など）・請求書・振込依頼書をお送りさせていただきます。
- ③ 費用振込について
郵送いたしました請求書をご確認の上、同封の振込用紙にて11月21日（金）までに指定の振口座へお振込をお願いします。

【2】21老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

ご参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	8,500円	9,000円	10,000円

【3】宿泊・交流会のご案内

＜宿 泊＞

宿泊は、ホテルコスモスクエア（会議場と同じ施設）にてご用意しております。

ご利用日	シングルユース	シングル	ツイン	内 容
11/29（土）	12,000円	9,800円	8,400円	1泊朝食付・税サ込
11/30（日）	12,000円	9,800円	8,400円	〃

- *いずれの表示料金も1泊朝食付きの金額で、お部屋タイプはすべて洋室です。
- *ツインをご希望で同室希望者がございましたら、その旨を参加申込書該当欄にご記入願います。
- *＜ツイン＞の表示料金は一人当たりの金額です。
- *＜シングルユース＞とは＜ツイン＞の部屋をお一人で使用するという意味です。
- *＜シングル＞は室数が少ないため、お早めにお申し込みください。

＜交流会＞

交流会会場はホテル大阪ベイタワー（弁天町駅から直結・会議会場最寄駅から地下鉄3駅）

参加費 お一人様 8,500円

【4】 昼食弁当のご案内

11/30（日）分科会会場にて希望者にお弁当をご手配いたします。ご希望の方は、申込書にご記入下さい。

11/30（日）	分科会会場	お弁当（お茶付き）	1,200円
----------	-------	-----------	--------

【5】 変更・取消のご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要ですのでご注意ください。 変更、取消の場合は必ずF a xまたは郵送にてお願いします。また、変更・取消後のご返金については、本会終了後、速やかに行いますので、ご了承ください。

取消日(旅行開始日の前日から起算してさかのぼって)	大会参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
大会申込後から	100%	無料	無料	無料
1) 21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
2) 20日目にあたる日以降の解除(日帰り旅行にあたっては10日前(3～6を除く))	100%	10%	無料	無料
3) 7日目にあたる日以降の解除(4～6を除く)	100%	20%	無料	無料
4) 旅行開始日の前日の解除	100%	50%	50%	50%
5) 旅行開始日の当日の解除(6を除く)	100%	100%	100%	100%
6) 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

- ※ お申し込み後の変更・取消は必ずF A Xにてお願い致します。(電話不可)
- ※ 上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引き、大会終了後にご清算いたします。
- ※ 変更・取消等によるご清算は、大会終了後、指定の口座にお振入いたします。
(事務手続き上、多少お時間を頂きますのでご了承願います。)
- ※ 大会当日のご返金は致しませんのでご了承願います。

【6】 申込・お問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)なんば支店 担当：和瀬田・上田・田中

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1-12-5 難波室町ビル 6階
 TEL:06-6645-8080 FAX:06-6645-8090
 営業時間 月～金曜日 9:00～18:00 (土・日・祝祭日休業)

21・老福連 第8回職員研究交流集会参加申込書・費用内訳書

申込日 < 月 日 > 県名 _____ 所属施設名 _____ TEL () - -
 連絡可能な時間帯 < 時 ~ 時 > 担当者氏名 _____ FAX () - -
 施設所在地 〒 _____

フリガナ 氏名	性別	職種	参加 (※下記注釈参照)			分科会 (※下記注釈参照)			宿泊 (※下記注釈参照)		交流会	昼食 (お茶つき)	合計金額	ツイン 利用時 同室 希望者	名簿への 氏名掲載 の可否
			11/29	11/30	12/1	第1 希望	第2 希望	役割	11/29	11/30					
			土	日	月				第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	8,500円	1,200円			
オオサカ ハナコ (例)大阪 花子	男・女	施設長	○	○	○	1-V	1-IV	座長	SU	SU	×	○	35,200円		可・否
									S	S			30,800円		
オオサカ タロウ (例)大阪 太郎	男・女	相談員	×	○	×	4-I	4-II		×	S	○	○	28,000円	名鉄 太郎	可・否
									×	T			26,600円		
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否
	男・女														可・否

◆ お申し込み方法

- * お申し込み方法は上記申し込み欄にお名前を記入のうえ、該当欄に○印を書き入れて、郵送またはFAXにて下記申し込み先へお送りください。
- * 分科会の座長・記録・助言者・発表者の方は、希望分科会の「役割」の欄にご記入ください。

◆ 集会参加費について

* 3日間参加:10,000円 / 2日間参加:9,000円 / 1日間参加:8,500円

◆ ホテルの料金表について

- * いずれの表示料金も1泊朝食付きの金額です。
- * <ツイン>の表示料金は一人当たりの金額です。
- * <シングルユース>とは<ツイン>の部屋を一人で使用するという意味です。

種類	シングルユース	シングル	ツイン
記入記号	SU	S	T
金額	12,000	9,800	8,400

- ◎いただいた個人情報は、この集会の目的以外に使用しません。
- ◎当日配布の資料集に参加者一覧を掲載します。名簿への氏名掲載の可否を上記欄に○をおつけください。(記載なき場合は可能と判断させていただきます。)

< 申込先 >

名鉄観光サービス(株)なんば支店 支店長/萩原 良一
 担当/和瀬田・上田・田中
 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 1-12-5 難波室町ビル 6F
 TEL 06-6645-8080 FAX 06-6645-8090
 (営業時間 9:00~18:00 土日祝休み)